

マダガスカル

主要データ

国名〔英名〕	マダガスカル共和国〔Republic of Madagascar〕
面積(km ²)	587,041
海岸線延長(km)	4,828
人口(百万人)	24.4
人口密度(人/km ²)	41.6
GDP(十億 US\$)	9.74
一人当り GDP(US\$)	398.68
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、チタン、クロム、コバルト
主要鉱産物：地金	-
鉱業管轄官庁	鉱山石油省(Ministry of Mining and Petroleum)
鉱業関連政府機関	The Mining Cadastre Bureau of Madagascar (BCMM) Office of National Mining and Strategic Resources (OMNIS)
鉱業法	Mining Code(2005年改定) Large Mining Investment Act (LGIM)(2005年改定)
ロイヤルティ	2% (鉱産物輸出額に対して)
外資法	-
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境規制に関する鉱業部門規制共同省令第 12032/2000
鉱業公社	Kraomita Malagasy SA
鉱業活動中の民間企業	Rio Tinto、Sherritt International、住友商事
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2016年のトピックス	・ Mining Cadastre Bureau of Madagascar (BCMM)は、鉱山石油省と共に同国首都アンタナナリボに国の公式フロント・オフィスである“Mining Business Centre (MBC)”を設立することを発表。

1. 鉱業一般概況

マダガスカル政府は資源開発を経済成長の推進力とするため、2002年に世銀の監修下で大規模鉱山投資法を制定し、外資による資源開発を展開するための体制を整備した。これにより、2005年2月には加 Dynatec(後に Sherritt International により吸収合併)による Ambatovy ニッケルプロジェクトが立ち上がり2005年8月には QIT Madagascar Minerals (QMM)に Rio Tinto が80%出資して参画(マダガスカル政府 20%)した。QMMは2009年5月にはチタンの原料となるイルメナイト精鉱を初出荷しており、Ambatovy ニッケル鉱山は2012年から生産を開始している。2015年3月には完工条件の一つである生産テストの完了を達成している。

また、多くの小規模採掘が金、貴金属、宝石を対象に行われているが、その大半が違法であり、違法輸出、環境破壊といった課題に発展している。政府は2017年から5年以内に全ての違法採掘を50%削減することを目標としている。

鉱業関連政府機関である Mining Cadastre Bureau of Madagascar (BCMM)は、鉱山石油省と共に同国首都アンタナナリボに国の公式フロント・オフィスである“Mining Business Centre (MBC)”を設立することを発表、2017年に開館予定とした。同国鉱業セクターの投資促進を目的とし、鉱山会社、投資家、サービスプロバイダーの情報交換の場として会議場、レストラン、図書館等を備えている。

2. 鉱業政策の主な動き

2001年以降、ラヴァルマナナ大統領（当時）政権の下、鉱業投資に関する法整備が進められ、2002年には鉱業法（Mining Code:Law No. 99-022）と大規模鉱山投資法（LGIM:Law No. 2001-031）が制定され、外資による資源開発を促進した。これにより、Rio Tinto や加 Sherritt International 等による鉱業投資が行われてきた。鉱業法は、鉱山開発区域の設定、開発許可の付与を含む基本的な制度を定めており、2005年に改定されている。2015年12月に鉱業法の改正案が国会に提出される見通しとされていたが、2017年6月ラジャオナリマンピアニア大統領は鉱業法改正を進める予定は無いと発言した。改正法案にはロイヤルティ率の引き上げや政府の鉱業権 10%取得等が盛り込まれると見られていたが、これに対し鉱業界からは懸念の声が上がっていた。

大規模鉱山投資法も鉱業法同様に2002年に制定。約1億US\$の投資規模の鉱業プロジェクトは付加価値税の免除と所得税の減額が含まれるといった特権税制を設定した。2007年3月に、Ambatovy プロジェクトが同国初のLGIM適用と認定された。2005年に改定され、LGIMの適格基準を約2,500万US\$に引き下げた。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
クロム	113.5	169.5	113.3	-33.1	0.3	13
ニッケル	37.1	47.3	42.1	-10.9	2.1	13
チタン	100.0	75.0	142.0	89.3	3.0	11

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2017)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ニッケル	37.1	47.3	42.1	-10.9	2.4	13
コバルト	2.9	3.5	3.3	-5.5	3.5	8

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2017)

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出入

表 3-3. 金属輸出入

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
チタン鉱石	311.0	177.3	214.4	20.9	カナダ、米国、スイス
クロム鉱石	97.3	197.8	79.3	-59.9	中国、インド
ジルコニウム鉱石	28.1	12.6	12.3	-2.4	中国、イタリア
コバルトマット	2.9	3.5	3.3	-5.8	オランダ、米国、南ア
マンガン鉱石	0.4	0.0	0.0	-	インド
銅鉱石	0.0	0.0	0.2	785.0	中国
ニッケル鉱石	0.0	0.0	0.002	908.5	カナダ、豪州

(出典：Global Trade Atlas, International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
アルミニウム ボーキサイト	0.1	0.0	0.0	-	南ア、豪州

(出典：International Trade Center)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(千t)	備考
Ambatovy 鉱山・製錬所	Sherritt International Corp. (40), 住友商事(32.5), KORES(27.5)	ニッケル コバルト (MS)	42.105 3,273	2016年6月にテーリングパイプの修理、メンテナンスのため一時操業停止したことが起因し、生産量は2015年より減少した。
QMM	QMM(QIT Madagascar Minerals) (出資比率 Rio Tinto 80%, マダガスカル政府 20%)	チタン (イルメナイト 精鉱)	750 (生産能力)	
Bemanevika and Ankazotaolana	Kraomita Malagasy SA (100)	クロム	未公表	
Ranobe Mine	World Titanium Resources (100)	イルメナイト ジルコン	600 65 (生産能力)	

(出典：各社年次報告および African Mines Handbook 2017)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	所有企業(権益：%)
Ambodilafa	銅、ニッケル、白金、 パラジウム	Jubilee Platinum Plc (100)
Antanisoa	グラファイト	Aziana Ltd. (100)

Beravina	ジルコン、イットリウム、ニオブ、ランタン	Diamond Fields Intl Ltd. (100)
Green Giant	バナジウム、グラファイト	NextSource Materials Inc (100)
Manantenina	ボーキサイト	Aziana Ltd. (100)
Molo	グラファイト	NextSource Materials Inc (100)
Morondava	ウラン	UMC Energy plc. (80), Government of Madagascar (20)
Tantalus	ランタン、タンタル、ニオブ	Reo Magnetic Pte (100) AG
Toliara	イルメナイト、ルチル、ジルコニウム	World Titanium Resources (100)
Valozoro	ニッケル	Diamond Fields International Ltd. (100)
Vatomaina	グラファイト	Tirupati Carbons & Chemicals (53.9), StratMin Global Resources (44.1), Private Interest(2)

(出典：各社 HP および Chamber of Mines Madagascar 他)

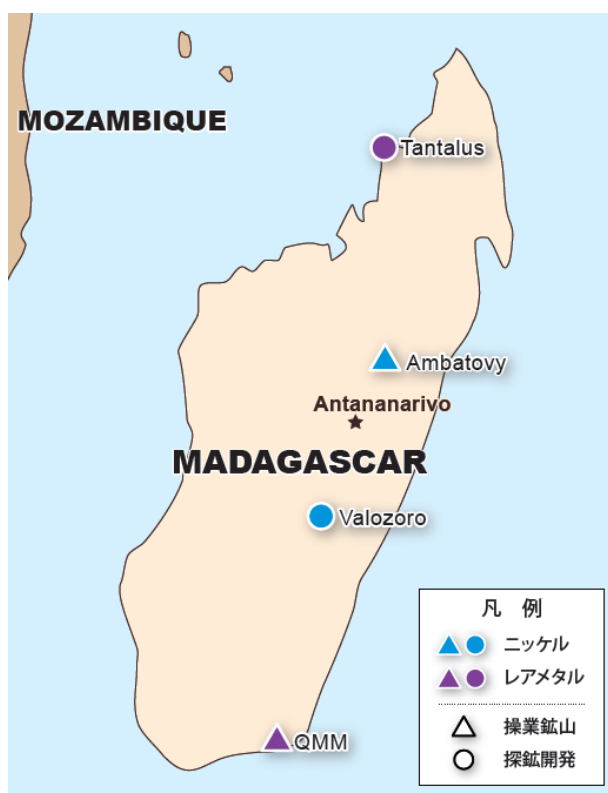


図 1. 主要鉱山、探鉱プロジェクト位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱及び地金輸出货量

鉱種	2014年(千t)	2015年(千t)	2016年(千t)	対前年増減比(%)
ニッケル地金	6.7	8.1	8.3	2.4

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

住友商事は Ambatovy ニッケル鉱山に 27.5% 権益（平成 29 年 9 月 9 日現在、32.5%）で参画し、2012 年に生産開始している。2017 年に向けてランプアップし、ニッケル生産 6 万 t を目指す。

7. その他トピックス

・ 2017 年 5 月、住友商事は Ambatovy ニッケル鉱山の権益 15.2% を加 Sherrit International から追加取得することで合意したと発表した。再編後の住友商事の権益は 47.7% となり、筆頭株主になる。15 年末から停止していた株主資金拠出を、停止時点にさかのぼって新しい持分比率に応じて再開することなどで合意した。

・ 2017 年 6 月、ヘリー・ラジャオナリマンピアニナ大統領は、政府は鉱業法を現時点では変更する予定は無いと言及した。既存の鉱業法が今後も適用されるとし、近い将来の変更が行われることは無いとした。また、変更があったとしても既存の投資及びプロジェクトには適用されないとした。

(2017.9.9 ロンドン事務所 ザボロフスキ 真幸)